

(様式-2)宅地地盤／のり面・自然斜面被害状況調査・危険度判定票

[illegible]

のり面・自然斜面の基礎的条件										
地盤	岩	☐ 軟岩 ☐ 硬岩 ☐ 不明			オーバーハング	☐ 無 ☐ 有				
	土 砂	☐ 砂質土 ☐ 礫質土 ☐ 粘性土 ☐ 不明			排水施設	☐ 無 ☐ 有(のり肩、小段排水)				
のり面高 (複合のり面は擁壁高含)		最大高	m(平均高 m)		のり面保護工	☐ 無 ☐ 植生土 ☐ 構造物				
		(うち擁壁高 m)		擁壁配置	☐ のり面の上部 ☐ のり面の中部 ☐ のり面の下部 ☐ 全面					
のり面勾配		度			家屋の有無	上部 ☐ 有 ☐ 無 : 下部 ☐ 有 ☐ 無				
のり長さ		m								
変 状 形 態 と 配 点 表										
宅 地 地 盤	変形状態のチェック(複数可)		小		中		大			
	1	クラック(幅)	3 cm 未満	1	3～15cm 未満又は 複数	3	15cm 以上又は全面	5		
	2	陥没(深さ)	20 cm 未満	2	20～50 cm 未満	4	50 cm 以上	6		
	3	沈下(沈下量)	10 cm 未満	2	10～25 cm 未満	4	25 cm 以上	7		
	4	段差(段差量)	20 cm 未満	3	20～50 cm 未満	5	50 cm 以上	8		
	5	隆起(隆起量)	20 cm 未満	7	20～50 cm 未満	8	50 cm 以上	9		
	6	湧水、噴砂	☐ 無 ☐ 有→+1 点(上の点数に 1 点加える)							
の り 面 ・ 自 然 斜 面	変形状態のチェック(複数可)		小		中		大			
	1	クラック(幅)	3 cm 未満又は単数	1	3～15 cm 未満又は複 数	2	15 cm 以上又は全面	3		
	2	ハラミ(隆起量)	10 cm 未満	3	10～30 cm 未満	4	30 cm 以上	5		
	3	ガリー浸食	クラックなどが誘 因となって雨滴に よる浸食が現れは じめた段階。	6	のり面の表土が雨 裂に陥没するなど 放置していると被 害が広がるおそれ のあるもの。	7	洞穴状や滝壺状に ガリーが進展して 家屋の基礎やのり 面等の下側に被害 を及ぼすような状 態。	8		
	4	滑落・崩壊	部分的な表層すべ り、又はのり面上部 の小崩壊。	7	表層すべりが進ん でえぐり取られた ような状態。放置 すると拡大するお それのあるもの、又 はのり面中部まで の崩壊。	8	全面的なすべり崩 壊で、さらに拡大 のおそれがあるもの、 又はのり面底部を 含む全崩壊。	9		
	5	のり面保護工の変状 (植生工は除く)	例えば、のり枠の間 詰め陥没。又はコン クリート吹付工に わずかにテンショ ンクラックが見ら れるが吹付工のず れは認められない 程度。	7	例えば、のり枠の部 分的な破損。又は コンクリート吹付工 のクラック部分で 陥没・ずれが見受け られる。	8	例えば、のり枠の浮 上り破壊。又はコン クリート吹付工の ラス金網が露出し、 コンクリート吹付 面にも破損が見受け られる。	9		
	6	排水施設の変状	天端排水溝にずれ、 欠損がある。又は、 天端背面、舗装面に クラックが見られ る。	3	左に加え、のり面の クラック、又は目地 からの湧水がある。	5	排水溝が破断沈下 するなど、排水機能 が失われている。	7		
	7	のり面内の水道管等の破裂	破裂して水が流出している。						8	
	8	湧水、落石・転石	☐ 無 ☐ 有→+1 点(上の点数に 1 点加える)							
	被害の判定値 ※変状点の最大値に加算点を加えたもの ※無被害の場合は被害点の記載無し		 点		☆被害程度の点数と危険度判定☆ 無被害： 0 点(防災上問題無し) 小被害： 1～3 点(当面は防災上問題無し) 中被害： 4～7 点 (制限付き立入。進行していれば避難) 大被害： 8～10 点(危険、要避難、立入禁止)					
	危険度判定		☐ 大 ☐ 中 ☐ 小 ☐ 無							
	所見(記入者の意見) ※無被害の場合は記載無し	緊急度	☐ 大 ☐ 中 ☐ 小 (人命・財産・交通の 3 点を判断基準とする。)							
	拡大の見込	☐ 有 ☐ 無 ☐ 判断不可 (備考：)								